

主題：聖書の核心

メッセージ 15

ヨブ記に対する大いなる答え

聖書：ヨブ 1:1. 10:13. 42:5-6

- I. ヨブ記はわたしたちに、二つの部分の大いなる質問を残します：人を創造した神の目的は何でしょうか？ 神の選びの民を対処する神の目的は何でしょうか？—— 1:1. 10:12-13. 13:3-4。
- II. この大いなる質問に対する大いなる答え、神の中に各時代にわたって隠されてきた奥義とは、神の永遠のエコノミーであり、それは神の永遠の定められた御旨と彼の心の願いであって、神聖な三一における彼ご自身を彼の選びの民の中へと分与して、彼らの命また性質となり、彼らが彼であるのと同じになって彼を表現することです—— I テモテ 1:3-4. エペソ 1:22-23. 3:9, 19. 創 1:26. イザヤ 43:7。
- III. 神のエコノミーとは、神が肉体と成ることを通して肉体における人と成り、人が造り変えを通してその霊の中の神となって（しかし神格においてではない）、神を人の中へと建造し、人を神の中へと建造して、団体の神・人を得ることです：
 - A. 人に成ることにおける永遠の三一の神の最もすばらしい、卓越した、奥義的な、すべてを含む造り変えは、人の中での神の行動であり、神の永遠のエコノミーを完成するためです——ヨハネ 1:14, 29. 3:14. 12:24. 使徒 13:33. I ペテロ 1:3. I コリント 15:45 後半. 使徒 2:36. 5:31. ヘブル 4:14. 9:15. 7:22. 8:2。
 - B. 三部分から成る人の造り変えは、神の行動であり、人を神化し、手順を経て究極的に完成された三一の神をもって人を構成し、人を神格においてではなく命と性質において神とし、三一の神を団体的に表現することです——ローマ 12:2. II コリント 3:18. I ヨハネ 3:2. 啓 4:3. 21:11. 22:17 前半。
- IV. この宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子供たちに関してであり、それを通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれ、人が極みまで神を獲得することです——II コリント 1:8-9. 4:16：
 - A. 生ける神は人のために多くの活動をすることができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます—— 16 節：
 1. 神は働いて、外側の活動において彼が知られるようにするのではなく、働いて、彼ご自身を人の中へと分け与え、造り込んでいます——ガラテヤ 4:19。
 2. 神は環境を用いて、彼の命と性質をわたしたちの中へと造り込みます——II コリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3. ヨハネ 16:33。
 3. わたしたちは復活の中で生きて、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して神の長子としてのキリストのかたちに同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. エレミヤ 48:11。

4. わたしたちが苦難を経過するとき、継続的な更新が日ごとにわたしたちの中で起こり、神がわたしたちを新エルサレムにするという彼の心の願いを完成することができるようにする必要があります——エゼキエル 36:26. II コリント 4:16. 5:17. 啓 21:2。

5. 真のクリスチャン生活は、朝から晩まで日ごとに、復活の神がわたしたちの中へと加えられることです——コロサイ 2:19. ローマ 8:10, 6, 11。

B. 神がヨブを対処したすべてにおいて、神の意図は、ヨブを減少させて無にし、しかも彼の生存を維持して（ヨブ 2:6）、神がご自身をヨブの中へと分け与える時間を持つことです。神はただ一つの事、すなわちわたしたちの中へと造り込まれることに注意しています。

V. 三一の神が人を神化して彼のエコノミーを完成し、彼の団体の表現を持つという行動は完全に、ミングリングされた霊、すなわち、神聖な霊とわたしたちの人の霊がミングリングされて一となった霊の中にあります——I コリント 6:17. 啓 1:10. 4:2. 17:3. 21:10. 参照、ヨブ 12:10. 32:8 :

A. わたしたちは、わたしたちの霊を活用することによって、わたしたちの霊に思いを付け、注意を払い、顧み、あらゆることをその霊にしたがって行なわなければなりません——ガラテヤ 5:16, 25. 6:18. ローマ 8:4. マラキ 2:15-16. I テモテ 4:7. I テサロニケ 5:17. エペソ 6:18. ユダ 19-21 節。

B. わたしたちが今日、見つめる神は、究極的に完成された霊であり、わたしたちはわたしたちの霊の中で彼を見つめることができます——II コリント 2:10. II テモテ 4:22 :

1. 神を見ることはわたしたちを造り変え、神を見ることは神を獲得することと等しいのです——II コリント 3:16, 18. マタイ 5:8. 啓 22:4。

2. わたしたちは神を見て神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を否み、自分自身を憎むようになります——ヨブ 42:5-6. イザヤ 6:5. ルカ 14:26。

C. わたしたちの霊の中のすべてを含む霊としてわたしたちの中で生きる、手順を経て究極的に完成された三一の神だけが、勝利者になることができます——I ヨハネ 5:4. ヨハネ 3:6 後半. II コリント 4:13. ローマ 8:2。

D. わたしたちはその霊にしたがってあらゆることを行なっている限り、キリストの肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天とその霊の注ぎ出しを経験することができます。これはわたしたちを、神の召会、キリストのからだ、新しい人、三一の神の有機体とならせ、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します——ピリピ 1:19. エペソ 4:4。

E. 神の民を対処することでの神の目的は、他のすべての事よりも、彼の民がますます彼を獲得し、彼にあずかり、彼を所有し、彼を享受して、彼らの享受が最も完全な程度に達し、彼らが新エルサレムになることを、彼が願っているということです——ピリピ 3:8-9. 啓 21:2。

F. これは、新約全体がヨブに対する大いなる答えであり、神が人を創造したこと、また神の選びの民を対処することの目的に対する大いなる答えであるということです。

VI. 神がヨブに現れたとき、ヨブは神を見て、彼の個人的な経験と自分自身を忌み嫌うことにおいて、神を獲得しました——ヨブ 38:1-3. 42:1-6 :

A. わたしたちは神を見るために、わたしたちの霊を活用しなければなりません——エペソ 1:17-18. 3:16-17. I コリント 2:9-16. II コリント 4:13 :

1. わたしたちは霊の中で神を見つめれば見つめるほど、ますます彼のすべての成分を、わたしたちの内なる供給としてわたしたちの存在の中へと受け入れます—— 16-18 節。
2. わたしたちは苦難のただ中であって、わたしたちの霊に注意し、主をわたしたちの住まい、わたしたちの十分であることの秘訣としなければなりません—— 2:13. 7:5-6. マラキ 2:15-16. 詩 91:1. ピリピ 4:11-13. 詩 90:1-11. 31:20. イザヤ 32:2.

B. わたしたちは神を見るために、わたしたちの霊を対処しなければなりません—— II コリント 3:16, 18. マタイ 5:8. 13:18-23 :

1. わたしたちは、わたしたちの思いの霊の中で更新されなければなりません。それは、神の聖なる言葉で構成されて、神の言葉によって教えられ、統治され、支配され、制御されることによります——エペソ 4:23. 申 17:18-20。
2. わたしたちは主の愛で火がつけられ、感情が主の家に対するわたしたちの熱心さとしての彼で満たされなければなりません—— II コリント 5:14. II テモテ 1:6-7. ヨハネ 2:17. マルコ 12:30。
3. わたしたちの意志はキリストによって征服され、苦難を通してキリストをもって造り変えられて、キリストの頭首権に服従しなければなりません——ピリピ 2:13. 参照、雅 4:1, 4. 7:4 前半, 5。
4. わたしたちはキリストの無代価の、清め、純粹にする血によって、良い純粹な良心を維持しなければなりません——使徒 24:16. I テモテ 3:9. ヘブル 9:14. 10:22。

VII. 造り変えはわたしたちを一つの形、すなわち古い人の形から、別の形、すなわち新しい人の形に移します。これはキリストの死の殺しによって完成されます—— II コリント 4:10-12, 16-18 :

A. パウロは II コリント 第 4 章 10 節で、絶えずわたしたちの体に、イエスの致死力が働いていると言っています。致死力は殺しを意味します。キリストの死はわたしたちを殺します—— I コリント 15:31, 36. ヨハネ 12:24-26. II コリント 1:8-9。

B. キリストの死は複合の霊の中にあります。複合の霊は、キリストの死とその効力の適用です——出 30:22-25. ローマ 8:13。

C. クリスチャン生活は、絶えず複合の霊による殺しの下にある生活です。この日ごとの殺しは、内住の霊と、殺す武器としての環境によって遂行されます :

1. わたしたちの内側でのその霊の働きは、わたしたちのために新しい存在を構成しますが、外側でのその霊の働きは、わたしたちの環境を通してわたしたちの天然の存在のあらゆる面を壊します。
2. 生まれつきのわたしたちであるものは何の意味もありません。その霊がわたしたちの存在の内側で構成するものだけに価値があります——参照、エレミヤ 48:11。
3. わたしたちは活動する霊と協力し、神がわたしたちのために案配した環境を受け入れるべきです——ピリピ 4:12. エペソ 3:1. 4:1. 6:20. I コリント 7:24。

D. 神の神聖な主権ある案配の下で、あらゆることがわたしたちの益のため、わたしたちの造り変えのために、キリストの死の殺しを通して働きます——ローマ 8:28-29.

参照、詩 31:15 前半：

1. わたしたちは神に不平を言うかもしれませんが、わたしたちの不平を言うことは最高の祈り、神にとって最も喜ばしい祈りであるかもしれませんが。わたしたちが不平を言っているとき、神は歡喜しています。なぜなら、神はすべてを共に働かせて益とし、わたしたちが彼の長子のかたちに同形化されるようにしているからです——参照、詩第 102 篇, タイトル。

2. わたしたちは、神の御子のかたちに同形化されるために、感じている負担にしたがって、神が願っているような祈りがわからず、どのように祈るかについて明確ではありません。ですから、わたしたちはうめき、わたしたちのうめく中でその靈はわたしたちのためにとりなします——ローマ 8:23, 26. 参照、歴代下 20:12. 列王上 8:48。

E. 患難は、キリストのすべての豊富を伴う恵みの甘い訪れ、また恵みの肉体と成ることです。恵みはおもに、患難の形でわたしたちに訪れます——II コリント 12:7-10。

F. 患難を通して、わたしたちの天然の存在に対するキリストの十字架の殺す効果は、聖靈によってわたしたちに適用され、復活の神がご自身をわたしたちの中へと加えるための道を造ります——1:8-9. 4:16-18。

G. 患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達の質を生み出します。それは練達した質、あるいは属性であって、患難と試練を耐え忍び経験することから来ます——ローマ 5:3-4。

VIII. 神が彼を愛する者を対処する目的は、彼らが最も完全な程度にまで彼を獲得し、彼らが彼以外に持っているものすべての損失を超越し（ピリピ 3:7-8）、彼が彼らを通して表現され、人を創造した彼の目的を成就することです（創 1:26）。